

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 31-005

PDCA	事務事業名	博物館一般事務	部課等名	教育部 博物館	担当	秋山	
					内線等	23-7173	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第5章 育ち合い共生を進めるまち					
		節： 第2節 生涯学習の推進					
		基本施策： 3. 文化の継承と創造					
		単位施策： (2) 文化の振興					
根拠法令等	博物館法、半田市立博物館条例、半田市立博物館条例施行規則						
対象・目的	博物館の見学や各種の博物館講座への参加を通して、郷土の歴史、伝統文化や科学、芸術への理解を深める。						
目的を達成するための手段・活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 学芸員の専門分野を活かした講座や企画展に合わせた講座・関連イベントを実施する。 常設展示室の更新・充実に加え、廊下やエントランスホール等も展示スペースとして活用する。 						
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	28年度	29年度	30年度	単位	
		①博物館年間入館者数	90,400	104,913	95,961	人	
		②博物館講座参加者数	900	489	614	人	
		③					
		事業費	6,995	7,187	7,375	千円	
		人件費	8,699	8,728	8,210	千円	
		総事業費	15,694	15,915	15,585	千円	
		活動単位当たりのコスト	28年度	29年度	30年度	単位	
		①入館者1人当たりのコスト	173.61	151.7	162.4	円	
		②博物館講座参加者1人当たりのコスト	978.18	960.04	705.0	円	
	③						
	成果	成果指標	28年度	29年度	30年度	単位	
		①博物館年間入館者数	実績値	90,400	104,913	94,157	人
			目標値	98,000	98,000	100,000	
②博物館講座参加者数		実績値	900	489	614	人	
		目標値	260	260	260		
③		実績値					
目標値							
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある		
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	—	
事業の評価・課題	<p style="text-align: center;">B</p> <p>企画展「知多半島の里山」期間中の里山に関する講演会の開催や、「文化財よもやま話」の実施回数を全5回から7回に増やしたこと、博物館講座「ピカピカ光る！泥だんごを作ろう」、「親子昆虫観察ツアー」、「カプセル砂絵を作ろう！」など親子で楽しめる講座を新たに開催したことで、幅広い年齢層への博物館のPRができ、昨年度を100人以上上回る参加実績となった。また、常設展示室Ⅲの一部改修や、山車の展示解説について一部多言語化にも取り組んだ。今後も参加者が興味をもってもらえるような魅力的な講座を開催していくことが必要である。</p>						
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	<p style="text-align: center;">改善推進</p> <p>幅広い年齢層の方に興味関心を持ってもらえるよう、学芸員の専門分野を活かした講座や企画展に合わせた講座・関連イベントを実施することで、さらなる入館者数の増加に努める。また、常設展示室の展示や解説等を改善し内容を充実させることで、さらに魅力ある博物館づくりを推進していく。</p>					
	令和元年度の目標	成果指標	目標値	単位			
		①博物館年間入館者数	100,000	人			
		②博物館講座参加者数	600	人			